

リカバリーカレッジOKAYAMA

リカバリーカレッジトレーナー入門ワークショップ

リカバリーカレッジのコアな考えについて

リカバリーカレッジ のはじまり

2008年？
リカバリーイノベー
ションの視察と講師
招聘

2009年
ロンドンで試験的に
リカバリーカレッジ開始

2011年
正式に始まる

2011年 ImROC
組織改革を通じた
リカバリーの促進
「精神的健康なくして健
康はない」

2018年の報告
イギリス全土で80か所
以上
Recovery & Wellbeing
Collegeに。

世界的に広がり
日本でも
開始！

・リカバリー志向のサービスが
疾病や再発防止から意味ある人
生、ウェルネに焦点をあて始める

・リカバリーへの気づきとリカバ
リースキルを学ぶ機会の必要性

・ピア主導のサービスの提供

イギリスにおけるリカバリーカレッジ

目的	ひとりひとりのリカバリーの旅のためにセルフマネジメントができるようになること
スタッフ (トレーナー)	専門職とピアスタッフとが組んで行う 専従スタッフはNHS常勤、講座トレーナーの多くは非常勤
対象者(学生)	精神保健サービスの利用者、その家族、友人、市民専門職など
カリキュラム	3学期制 1学期3か月程度 専門的知識と経験知に基づくリカバリーのための講座が数多く開講され、学生は目的に合わせて自分で選択する。 自分で申し込み、受講料は無料

リカバリーカレッジのコアとなる考え

(Mc Gregory 2014年)

- | | | |
|---|--------------------------------|--------------|
| 1 | Based on Educational Principle | 教育アプローチ |
| 2 | Co-Production | コプロダクション(共創) |
| 3 | Strengths-based | ストレングが基本 |
| 4 | Person-centered | ひと中心 |
| 5 | Progressive | 通過していくもの(卒業) |
| 6 | Community facing | 地域に向いている |
| 7 | Inclusive | すべての人が対象 |

1 教育アプローチとは

- 治療をする場でも支援を行う場でもない
- リカバリーについて学びあう場である

- リカバリーに役立つ講座を自分で選んで受講する
- 治療計画や支援計画はなく、自分で学習計画を立てる

2 コプロダクション(共創)とは

- ・多くの声が反映できること、力を分配すること
- ・全ての場面においてコプロダクションで行う
 - カレッジの運営
 - 講座の企画
 - 講座の実施等
- ・特に生きた経験をした人と専門職とがともに垣根を越えて行う
 - 学生ともコプロダクションで行う

3,4 ストレングスでひと中心

- ・誰もが患者、利用者ではなく、学生（受講生）である
- ・リカバリーを学びたくてやってくる人として敬意を払う
- ・申込み時に病名、病歴、生活歴などを尋ねることはない

5 プロGRESS (前進)

- 長期的に通う居場所ではない
- 必要な時に利用して次のステップに進んでいく
- 目標達成して卒業をする

「卒業があるから、これからのことを考えることができた」

7 地域に向いている

- 地域の機関と協力して講座を行う
- 図書館、コミュニティセンターといった場所で講座が行われる
- 地域の多様なサービス等の情報がある

※特定の人のみ利用する閉鎖的な場所は、差別や偏見が生まれやすい

インクルーシブ(すべての人が対象)

- 受講したい方は誰もが受講できる
- 誰をも排除しない

- 配慮が必要なことは申込時に確認する
- 配慮が必要な方には可能な限り固有のサポートを整える